

桜の花びらもほころび始めた過ごしやすい季節となりました。京都では鴨川沿いの桜並木がとてきれいです。

この度、渡邊昌彦新理事長より編集委員を仰せつかりました京都大学大学院医学研究科泌尿器科の井上貴博と申します。本学会は会員数 12,000 人を超える非常に大きな学会で、日本内視鏡外科学会雑誌 (JSES) は学会員の叡智と創意工夫を情報発信する重要な和文機関誌ですので、この大役は身に余る光栄です。

先日、da Vinci を用いた腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術として径 7 cm 以下で転移病巣のない悪性腫瘍に対する腎部分切除術の保険収載が認められました。保険収載に至るまで大変な努力をされました諸先生方に感謝いたします。da Vinci を用いた手術は拡大視野で微細な手術操作を可能にした非常に優れた手術法だと思います。しかし、触覚がないため、知らぬ間に組織に予想以上の力がかかっていることがあります。特に腎部分切除術 (RAPN) 時には、リンパ節の拡大郭清を行わない前立腺全摘術 (RALP) とは違い、大血管周囲を操作する必要がありますので、より細心の注意が必要です。私自身も特に腎動脈にテーピングをする時は全神経を集中して、丁寧かつ慎重な操作を常に心がけています。今後、da Vinci を導入されている多数の施設で、本術式が開始されるかと思いますが、腎腫瘍に対して何でもかんでも da Vinci で腎部分切除術をするのではなく、あくまでも患者さんの病状を第一に考え、最善の治療法を選択していただくと同時に、da Vinci 手術をする際には、常に術前の周知な準備と術中の注意深さを心がけていただくことを切に願っております。

こうした内視鏡外科の新しい術式が普及していくためには、テクノロジーの革新のみならず、実際の現場で働く内視鏡外科医の努力と創意工夫なくしてなし得ません。そして、内視鏡外科の発展のためには、お互いに情報を共有して、より安全で標準化可能な術式の開発が不可欠だと思っております。JSES はこうした情報発信の場ですので、是非とも積極的に会員皆様の経験を文章化して JSES に投稿していただくようお願いいたします。私も皆様の貴重な経験と知恵を世に出すために、よりよい論文にしていくお手伝いができればと思っております。

では、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(井上貴博)

## 日本内視鏡外科学会雑誌

(第 21 巻 第 3 号) 2016 年 5 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1 部) 定価：本体 2,800 円＋税 ＊会員には毎号送付されます。

2016 年 年間購読料：冊子版 16,380 円＋税、電子版/個人 16,380 円＋税、電子版/共有 18,840 円＋税、冊子＋電子版/個人 19,380 円＋税、冊子＋電子版/共有 21,840 円＋税 (配送料：医学書院負担) ＊会員には冊子版が毎号送付され、学会ホームページから電子版が閲覧できます。

編集・発行：日本内視鏡外科学会 (代表：渡邊昌彦)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル

日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1257 E-mail: info-jses @ convention.co.jp (担当：野上)

http://www.jses.or.jp

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 1-4-2 Kasumigaseki, Chiyodaku

Tokyo, 100-0013, Japan ©2016, Printed in Japan

発売：(株)医学書院 (代表：金原 優) (本誌担当：水野、安部) http://www.igaku-shoin.co.jp/

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail: jses @ igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株)文京メディカル ☎ 03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

・本誌に掲載する著作物の複製権、上映権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は日本内視鏡外科学会が保有します。

・JCOPY (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(社) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

●原著

臍部 ZigZag 切開法は従来の縦切開法よりも手術創を小さく

できるか？—腹腔鏡下大腸癌手術における当院での検討 ……佐々木律子・他 東京都立多摩総合医療センター外科

●症例報告

下大静脈背面に密着した巨大な後腹膜神経節神経腫に対する HALS の

有用性 ……中野順隆・他 ひたちなか総合病院外科

十二指腸狭窄症状で発見され単孔式腹腔鏡下 Ladd 手術を施行した

腸回転異常症の 1 例 ……中村聖華・他 盛岡市立病院外科

腹腔鏡下に切除した脾動脈瘤の 1 例—手術の工夫について ……基 俊介・他 鹿児島大学大学院心臓血管・消化器外科  
肝膿瘍破裂による汎発性腹膜炎に腹腔鏡下洗浄ドレナージ術後に

内因性眼内炎となった 1 例 ……三原良明・他 イムス三芳総合病院外科

腹腔鏡下切除術を施行した後腹膜原発 Müller 管嚢胞の 1 例 ……梅邑 晃・他 盛岡市立病院外科  
単孔式腹腔鏡下にメッシュを用いて修復した Morgagni 孔ヘルニアの

1 例 ……鈴木貴久・他 高松赤十字病院消化器外科

腹腔鏡下に診断・治療をしえた回腸重複腸管の 1 例 ……荻野真平・他 京都府立医科大学外科学教室消化器外科学部門  
但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。